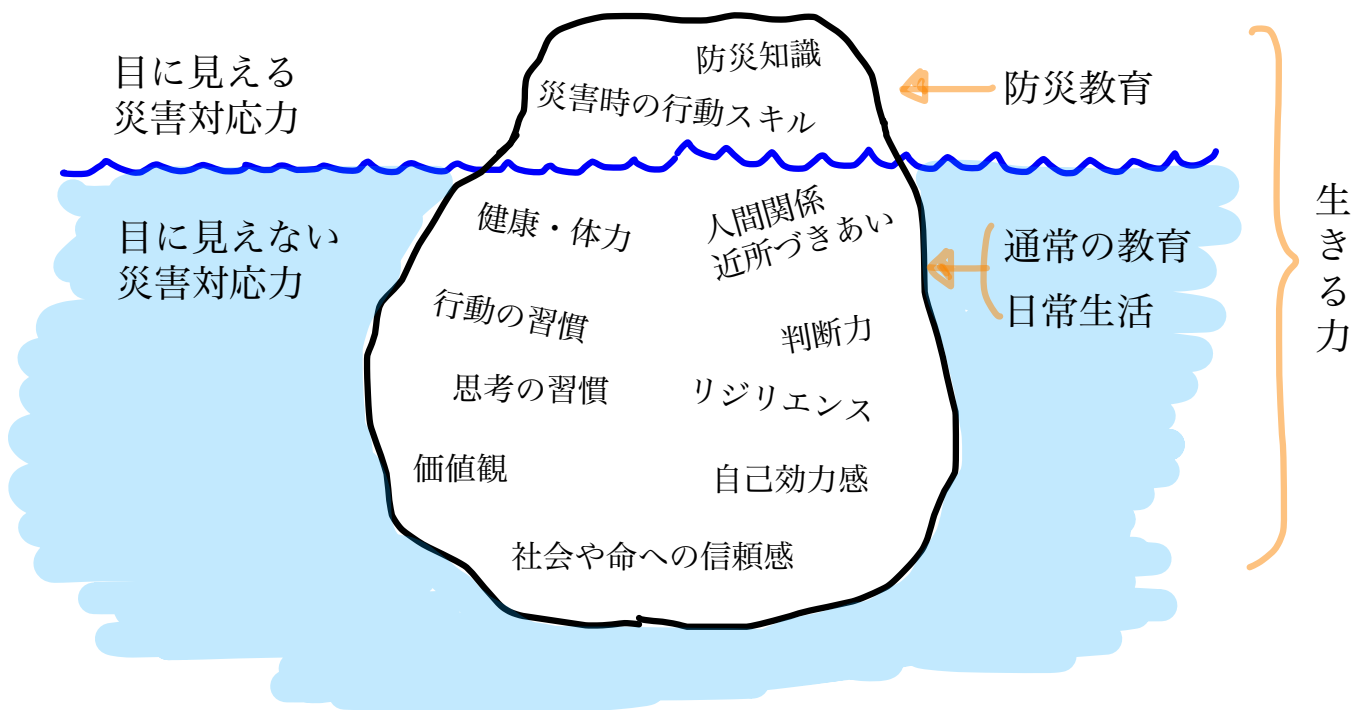


# 防災教育の日常化

宮城県立光明支援学校 山口 裕之



## 防災教育の冰山モデル

(山口 試作)

# 平成26年度 学校安全 全体計画

宮城県立光明支援学校

## 学校の現状等

- 地域の特性
  - ・丘陵地の閑静な住宅街
  - ・高速道路の近く
  - ・冬期間は積雪が多い
- 保護者や地域の状況
  - ・学区が広い。
  - ・防災意識が高く協力的。
- 児童生徒の実態
  - ・知的障害(単一及び重複)
  - ・6歳から18歳まで
  - ・幅広い発達段階の差
- 校舎の状況
  - ・小学部棟が離れている

## 学校教育目標

一人一人の児童生徒が社会に参加し、自立していく上で必要とする教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に伸ばして、現在及び将来にわたって豊かに生きていく人間を育成する。

## 安全教育の目標

- 児童生徒の障害の状態、発達の段階、特性および地域の実態に応じて、
- ①日常生活の中で安全な生活習慣や態度を身につける。
  - ②自ら危険な場所や状況を予測し、回避することができる。また、必要な場合に援助を求めることができる。
  - ③家族や友人、地域の安全のために、仲間と協力して活動できる。

## 家庭・地域・関係機関との連携

- ・PTA
- ・消防署
  - 泉消防署
  - 根白石出張所
- ・警察署
  - 北警察署
- ・南中山中学校
- ・南中山小学校
- ・北中山小学校
- ・聖和学園短期大学
- ・南中山連合町内会

## 安全教育及び安全指導の方針

### 災害安全

- 地震・津波、火災、気象災害等における危険性を理解し、命を守るための避難行動を身につける。
- 助けが必要なときに、周囲の人に自分から援助を求める。
- 実際の防災訓練で災害対応能力を高める。

### 交通安全

- 交通安全についての理解を深め、交通ルールを守って道路等を安全に歩行したり、自転車を運転したりできるようにする。

### 生活安全

- 日常生活で自分がケガをしたり、他者にケガをさせないように注意して、安全に行動できるようになる。
- 地域社会に潜む危険や犯罪について理解し、危険な状況に陥らないような行動がとれる。

### 防災対策委員会

- 防火管理全体計画の作成
- 消防計画の作成と提出
- 防災避難訓練の基本的事項に関すること
- 冬季暖房実施計画の立案と実施
- 体育館暖房の講習会

### 防災主任・安全指導部

- 教職員防災訓練
- 防災避難訓練・防災ショート訓練
- 通学バス・交通安全街頭指導
- 校内事故発生状況と安全措置に関する研修会
- 安否確認担当者一覧の作成

### 危機管理対策委員会

- 教職員事故対応訓練
- 危機管理対策マニュアルについて
- 緊急一斉メール配信システムについて
- 学校安全計画について

### 保健指導部

- 救命法研修会

### 生徒指導部

- 防犯訓練
- 不審者対応訓練
- 自力通学生への生活安全講習会

### 給食指導部

- 食物アレルギー調査
- 摂食指導に関する調査

### 自立活動部

- 摂食指導研修会

### プール管理委員会

- プール環境の整備
- 水質管理のための講習会

## 各教科・行事等

- ・学校の授業中(保健体育、作業学習、生活単元学習、校外学習等)及び休憩時間における事故防止の指導
- ・日常生活の指導、生活単元学習、保健体育等の学習指導における災害安全、交通安全、生活安全の学習
- ・防災避難訓練や防災ショート訓練(災害安全)、不審者対応訓練(生活安全)等の行事を通じた安全指導

### 小学部

- 着替えや靴の履き替えなどの身支度が自分で素早くできる。
- 指示に従って集団行動ができる。
- 危険な事物を知り、そこから逃げたり、大人に助けを求めることができる。

### 中学部

- 災害についての基本的なイメージを持ち、身を守る方法を理解する。
- 基本的な交通ルールを理解して、それを守って歩行できる。
- 日常生活の中で安全に行動できる。
- 防災訓練や不審者対応訓練の意味を理解して、身を守るための行動を取る。

### 高等部

- 自分から交通ルールや生活の約束事を守って安全に生活できる。
- 自ら危険な場所や状況を予測し、回避することができる(災害、交通、生活)。
- 必要な場面で周囲に助けを求めることができる。
- 家族や友人、地域の安全のために、仲間と協力して活動できる。

## 安全管理

### 対人管理

- 学校生活や修学旅行等を安全に過ごすためのきまりについて
- 通学バス乗車指導、自力通学生徒の下校指導
- 特別な配慮を要する児童生徒についての情報交換会
- 緊急連絡先等、危機管理名簿の作成

### 対物管理

- 校舎内外の安全点検
- 消防設備等点検
- 防災備蓄の点検整備
- 火気使用簿の記入と火気の安全管理

平成26年度 高等部 学校安全計画

※各教科…理科, 美術, 家庭については, 各教科等を含めた指導の中で行なっている。

項目		4	5	6	7・8	9	
安全にかかわる記念日・行事		春の交通安全運動 (県民総ぐるみ運動)		みやぎ県民防災の日	全国安全週間 夏の交通事故防止運動 青少年の非行被害 防止強調週間	防災週間 国民防災の日 秋の交通安全運動 (県民総ぐるみ運動)	
月の重点		通学路の安全を確認しよう	校内で安全に生活しよう	プールで安全に学習しよう	雷と竜巻に気をつけよう 夏休みを安全に過ごそう	宿泊学習や修学旅行を安全に 過ごそう	
安全 全 教 育	各教科※	保健 体育	3-1-1体育施設・用具の安全な使用	3-1-1体育祭練習や当日の安全	3-1-1プールにおける安全		
		理科	3-1-1理科実験で用いる器具やガスバーナー等の安全な使用 3-1-1理科実験で用いる化学薬品等の安全な使用				
		美術	3-1-1美術で使用する道具(はさみ, カッター, ナイフ, 彫刻刀, 木槌など)の特性と安全な使用 3-1-1美術で使用する材料の安全な使用				
		家庭	3-1-1調理器具(包丁, ビーラー, 調理ばさみ等)の安全な使い方 3-1-1調理用電気製品(ミキサー, 電子レンジ, ホットプレート)やガスコンロの安全な使い方 3-1-1アイロン, ミシン, 洗濯機等の家電製品の安全な使い方 3-1-1はさみ等の文房具, 裁縫針, ドライバーや金槌などの家庭用工具の安全な使い方				
	総合的な学習の時間	学校における全教育活動との関連を元に計画し, 自然体験や活動を促すなかで, 生徒の自発的な計画に基づき安全に対する意識を高める。					
	自立活動	健康の保持/心理的な安定/人間関係の形成/環境の把握/身体の動き/コミュニケーション ・自ら危険な場所や状況を予測・回避 ・必要な場面で援助を求める					
	学習	生単 学級		1-2-1地震発生時の対応		1-4-2, 3-2-2夏休みの過ごし方	
		合わせた指導	2-1, 2-2交通状況への適応				
	指導	生単 課題 班別			1-2, 3, 7地震に備える1	3-3-2, 3-3-3消費生活の安全	
		作業 学習	工房めぐり : 鋸やスコップ, 鎌などの道具の安全な使い方・野菜を育てる上での安全な作業・室内作業用具の安全な使い方 工房でらこった : 粘土の扱い, 道具の安全な使い方 工房ひのきお : 木工具の安全な使い方(電動工具, のこぎり, やすり等)・塗料の使い方と換気 工房はびえ : 紙漉に使用する火器や道具の安全な使い方・製品を作る際に使用するハサミ等の安全な使い方 工房びっころ : 刃物等, その他の調理器具の安全な使い方・火を扱う際の安全 工房からんころん : 裁縫道具やミシン, アイロンなどの器具の安全な使い方 工房すひか : 生徒の実態に応じて安全に作業できるようにする ※防災関連製品を開発しませんか?				
安全 指 導	自力 通学生 への 指導	2-1, 2 登下校の安全			2-3自転車安全に利用する 3-2-2子どもの事故		
	HR 日常生活 の指導	3-1学校生活における安全(授業, 行事等, 休憩, 清掃, 給食, 放課後, 不審者, 学校施設)					
	主な 学校学部 行事等	入学式 健康診断(4月~6月) 春の全国交通安全運動街頭指導 自力通学生生活安全講習会	防災ショート訓練 不審者対応訓練(1) 高等部体育祭	防災避難訓練(地震+引渡) プールオリエンテーション 前期就業体験実習 福祉サービス事業所実習(高2B)	防災ショート訓練(7月) 修学旅行(高3) 消費生活講話 自力通学生生活安全講習会	防災ショート訓練 宿泊学習(高1) 修学旅行(高2) 秋の全国交通安全運動街頭指導	
	生徒会 活動		朝のあいさつ運動			朝のあいさつ運動	
安全管理	対人管理	自力通学生生活安全講習会 通学状況調査 防災ずきん販売会 通学バス乗車指導 避難帯の準備 引き渡し名簿の作成 緊急時連絡先の確認	学校での安全のきまりの確認 特別な配慮を要する児童生徒の 情報交換会	プールでの安全のきまりの確認 就業体験(一般企業)参加者の安全 通学バス乗車指導	自力通学生生活安全講習会 修学旅行や宿泊学習での安全のきまりの確認	修学旅行や宿泊学習での安全のきまりの確認	
	対物管理	安全点検の方法を確認 防災用備蓄の点検整備	安全点検	安全点検 プール清掃	安全点検 消防用設備等の法定点検	安全点検	
学校安全に関する組織活動		危機管理対策委員会 防災対策委員会 交通安全街頭指導 通学バス情報交換会 通学バス試走	緊急一斉メール配信確認 プール管理委員会	緊急一斉メール配信訓練 安否確認担当者の決定(児童生徒情報入力後) 通学バス情報交換会	緊急一斉メール配信訓練 危機管理対策委員会 安否確認担当者の家庭訪問 学校保健委員会 夏休みのプール開放における安全管理	防災対策委員会 交通安全街頭指導	
研修	職員会議 防災主任より	マニュアル(教職員配備計画, 避難経路・緊急連絡方法, 備蓄リュック) 4月5月の安全指導 学校安全計画と防災教育ヘルプカード	マニュアルについて(不審者対応, 安否確認, 他傷) 6月の安全指導について	マニュアルについて(地震対応, 引き渡し, 雷・竜巻等) 教職員版携帯マニュアル 安否確認担当者 7月の安全指導について	マニュアル(事故対応, 平常時の備え, 教員備蓄リュック) 安否確認担当者の家庭訪問 夏休み前の持ち帰り 8月9月の安全指導	マニュアルについて(登下校中の大規模地震) 10月の安全指導について	
	研修会	教職員防災訓練(1) 摂食指導研修会			防災研修会(7月) 普通救命講習会(7月) 防犯訓練(8月) 教職員事故対応訓練(8月) 摂食指導研修会	教職員防災訓練(2)	

10	11	12	1	2	3
安全・安心なまちづくりの日(11日) 全国地域安全運動 原子力の日(26日)	全国火災予防運動 津波防災の日(5日)	年末年始の 交通事故防止運動	国民防災と ボランティア週間		みやぎ鎮魂の日 春期全国火災予防運動
火災予防を意識しよう	光明祭を安全に成功させよう	暖房時の安全を確認しよう	雪道を気をつけて歩こう	事故防止について確認しよう	交通安全について確認しよう
3-1-1球技等の指導における安全	3-1-1マット跳び箱球技等における安全		3-1-1様々な運動における安全		
3-1-1理科実験で用いる器具やガスバーナー等の安全な使用 3-1-1理科実験で用いる化学薬品等の安全な使用					
3-1-1美術で使用する道具(はさみ、カッター、ナイフ、彫刻刀、木槌など)の特性と安全な使用 3-1-1美術で使用する材料の安全な使用					
3-1-1調理器具(包丁、ピーラー、調理ばさみ等)の安全な使い方 3-1-1調理用電気製品(ミキサー、電子レンジ、ホットプレート)やガスコンロの安全な使い方 3-1-1アイロン、ミシン、洗濯機等の家電製品の安全な使い方 3-1-1はさみ等の文房具、裁縫針、ドライバークや金槌などの家庭用工具の安全な使い方					
学校における全教育活動との関連を元に計画し、自然体験や活動を促すなかで、生徒の自発的な計画に基づき安全に対する意識を高める。					
健康の保持/心理的な安定/人間関係の形成 環境の把握/身体動き/コミュニケーション ・自ら危険な場所や状況を予測・回避 ・必要な場面で援助を求める					
1-1火災について(避難訓練の事前指導)		1-4-6、3-2-2冬休みの過ごし方			3-2-2、2-2 春休みの過ごし方
2-1、2-2交通状況への適応					
	1-1、3-2火災と家庭の安全		3-3-1、4、5、6犯罪被害に遭わない		1-2、3、7地震に備える2
工房あくり : 鎌やスコップ、鎌などの道具の安全な使い方・野菜を育てる上での安全な作業・室内作業用具の安全な使い方 工房てらこった : 粘土の扱い、道具の安全な使い方 工房ひのきお : 木工具の安全な使い方(電動工具、のこぎり、やすり等)・塗料の使い方と換気 工房ばびえ : 紙漉に使用する火器や道具の安全な使い方・製品を作る際に使用するハサミ等の安全な使い方 工房びっころ : 刃物等、その他の調理器具の安全な使い方・火を扱う際の安全 工房からんころん : 裁縫道具やミシン、アイロンなどの器具の安全な使い方 工房すびか : 生徒の実態に応じて安全に作業できるようにする ※防災関連製品を開発しませんか?					
		2-5、6交通事故と交通安全 3-2-2子どもの事故			3-2-1火災防止 3-2-2子どもの事故
3-1学校生活における安全(授業、行事等、休憩、清掃、給食、放課後、不審者、学校施設)					
1-6原子力災害	避難経路の確認 1-2-1地震発生時の対応	1-4-6雪道の危険 3-1-8暖房器具の使用と安全 不審者への対応 1-2-1地震発生時の対応	1-4-6雪道の危険 給食の安全(食べる、配膳する) 病気から身を守る 阪神大震災の話 1-2-1地震発生時の対応	1-4-6雪道の安全	東日本大震災のこと 1-7-1避難所のこと
防災避難訓練(火災) 給食参観・試食会 不審者対応訓練(2) 後期就業体験実習 福祉サービス事業所実習(高2A)	防災ショート訓練 光明祭・作業発表会	防災ショート訓練 自力通学生生活安全講習会	防災ショート訓練 給食週間	防災ショート訓練 通学バス乗務員感謝の会	卒業式 自力通学生生活安全講習会
		朝のあいさつ運動 避難経路の除雪作業	避難経路の除雪作業	避難経路の除雪作業	朝のあいさつ運動 避難経路の除雪作業
就業体験(一般企業)参加者の安全	通学バス乗車指導	自力通学生生活安全講習会 避難経路の除雪作業	避難経路の除雪作業	避難経路の除雪作業	自力通学生生活安全講習会 避難経路の除雪作業
安全点検	安全点検 火気使用簿の準備 体育館暖房の講習会	安全点検 火気使用簿の記入確認	安全点検 火気使用簿の記入確認	安全点検 火気使用簿の記入確認	安全点検 火気使用簿の記入確認 消防用設備等の法定点検
緊急一斉メール配信訓練 プール管理委員会	通学バス情報交換会	危機管理対策委員会	通学バス試走 食物アレルギー調査・摂食指導に関する調査(在校生)	緊急一斉メール配信訓練 食物アレルギー調査・摂食指導に関する調査(新入生・転入生) 学校保健委員会 給食委員会	危機管理対策委員会
マニュアルについて(火災対応、地震対応) 11月の安全指導について 体育館暖房講習会について	マニュアルについて 12月の安全指導について	次年度学校安全計画について 1月の安全指導について	次年度学校安全計画について 2月の安全指導について	3月の安全指導について	東日本大震災の本校の対応について 年度末の持ち帰り等
	摂食指導研修会		教職員防災訓練(3) 摂食指導研修会		

(6)大雪に備えて		指導時期等						主な指導場面			
No	必ず身に付けさせたい事項	具体的指導内容	幼	小			中		高	特支	
				低	中	高					
⑤	雪解けによって起こる災害を知る。	1) 3～4月は雪解けによる被害が多い時期である。					◎	→	☆	教・行	
		2) 融雪による災害には浸水、洪水や地すべりなどがある。特に雨を伴う場合には注意が必要。					◎	→		教・行	
		3) 雪解け期は、降水が無くても、融雪により、相当の雨が降っているのと同じ状態になり、地すべりなどが起きやすくなる。						◎	→		教・行
		4) 融雪による災害が予想されるときは気象台から「融雪注意報」が出されるので、注意する。						◎	→		教・行

(7)落雷の被害に備えて		指導時期等						主な指導場面		
No	必ず身に付けさせたい事項	具体的指導内容	幼	小			中		高	特支
				低	中	高				
①	雷により死傷事故が発生していることを知る。	1) 雷は危険である。	○	→	→	◎	→	→	☆	教・行
		2) 日本では、雷による死者や負傷者が毎年あることを知り、落雷の危険性を認識する。			○	◎	→	→		教・行
		3) 雷が人に直撃(直撃雷)すると、約80%が死亡事故になる。			○	◎	→	→	☆	教・行
②	雷が落ちやすい危険な場所や条件があることを知る。	1) 雷が落ちやすいところとして、グラウンド、テニスコート、ゴルフ場、屋外プール、海などがある。		○	→	◎	→	→	☆	教・行
		2) 遠くの方で雷が聞こえていても、頭の上に雷雲がある時は、自分に落雷する可能性がある。	○	→	→	◎	→	→		教・行
		3) 傘には落雷しやすいので使わない。	○	→	→	◎	→	→	☆	教・行
		4) 大きな木には落雷しやすいので避難しない。	○	→	→	◎	→	→	☆	教・行
		5) 避雷針の保護範囲内は避雷針に落雷することが多いが、その他への落雷を完全に防ぐものではない。			○	◎	→	→		教・行
③	雷からの避難に適切な場所を知る。	1) 外にいて雷鳴が少しでも聞こえたら安全な建物等に避難する。	○	→	→	◎	→	→	☆	教・行
		2) 雷からの避難場所として、自動車、バス、列車、建物の中、配電線・送電線の下などがある。			○	◎	→	→	☆	教・行
		3) 建物の中は直撃雷の心配がないので安全だが、全ての電気器具、天井、壁から1m以上離れなければならない。				◎	→	→		教・行

(8)高潮の知識		指導時期等						主な指導場面			
No	必ず身に付けさせたい事項	具体的指導内容	幼	小			中		高	特支	
				低	中	高					
①	潮位について知る。	1) 海には月と太陽の引力のはたらきによる潮の満ち引き(しおのみちひき)があり、海の水面がもっとも高くなるを「満潮(まんちょう)」, もっとも低くなるを「干潮(かんちょう)」と呼ぶ。					○	◎		教・行	
		2) 気象情報の潮位は標高で示している。					○	◎		教・行	
		3) 地域により潮位と高潮による被害のあらわれ方が異なることから、高潮警報や注意報の基準は、地域によって異なっている。						○	◎		教・行
②	高潮(たかしお)について知る。	1) 高潮は、台風や発達した低気圧等が接近する際に生じる海面の高まりを言う。原因は主として、向岸風(沖から岸に向かって吹く風)による海水の吹き寄せで生じる海面の上昇と気圧の低下による海面の上昇である。					○	◎		教・行	
		2) 気圧が1hPa下がる毎に海面は約1cm上昇する。1気圧(約1013hPa)において海拔は0メートルなので、例えば台風などで気圧980hPaの場合、33hPa低いので33cm程度の水位が上昇する。					○	◎		教・行	
		3) 吹き寄せの効果は、向岸風が強いほど大きく、水深が浅い(遠浅な海)ほど大きい。風や地形の条件によっては大きな高潮の原因になる。						○	◎		教・行
		4) 日本では伊勢湾台風の時に3.89m(名古屋港)の高潮を記録している。						○	◎		教・行
		5) 高潮が河川や用水路などをさかのぼり浸水被害を引き起こすことがある。						○	◎		教・行
		6) 高潮が大潮や満潮と重なると潮位がとて高くなり被害が大きくなる。						○	◎		教・行
		7) 高潮により被害が出る地域をハザードマップ等で確認して、家族で避難場所等を決める。			○	◎	◇	☆		教・行	

# 防災主任より

6 / 1 1 (水)

## ○明日のHRで

- 6月12日 宮城県沖地震  
みやぎ県民防災の日
- 6月14日 岩手宮城内陸地震

・宮城県沖地震や岩手宮城内陸地震の時の、自分自身の体験談などを織り交ぜて、朝のHRなどの時間で生徒に伝えてください。(学校安全計画に基づいた防災指導)

---

### <参考>

#### ■宮城県沖地震

- ・1978年 6月12日 午後5時14分 発生
- ・M7.4, 最大震度5 (仙台市)
- ・死者28名 (ブロック塀の下敷きになるなど)
- ・老朽化したり手抜き工事だったブロック塀が倒壊したり, 新興住宅地 (緑ヶ丘など) の地盤が崩れたほか, 電気やガスなどのライフラインも途絶して都市生活が麻痺し, 大都市が経験した初めての都市型地震災害と言われた。
- ・復旧まで電気, 水道, 電話は約1週間, ガスは1ヶ月かかり, しばらくお風呂に入れなかった人が多かった。
- ・東日本大震災と同じタイプの地震で, 津波も少しあった。(最大30センチ)
- ・発生時間の割に, 火災は8件と少なかった。(8分までに少し小さな地震があり, そこで火を消した家庭が多かった可能性がある)

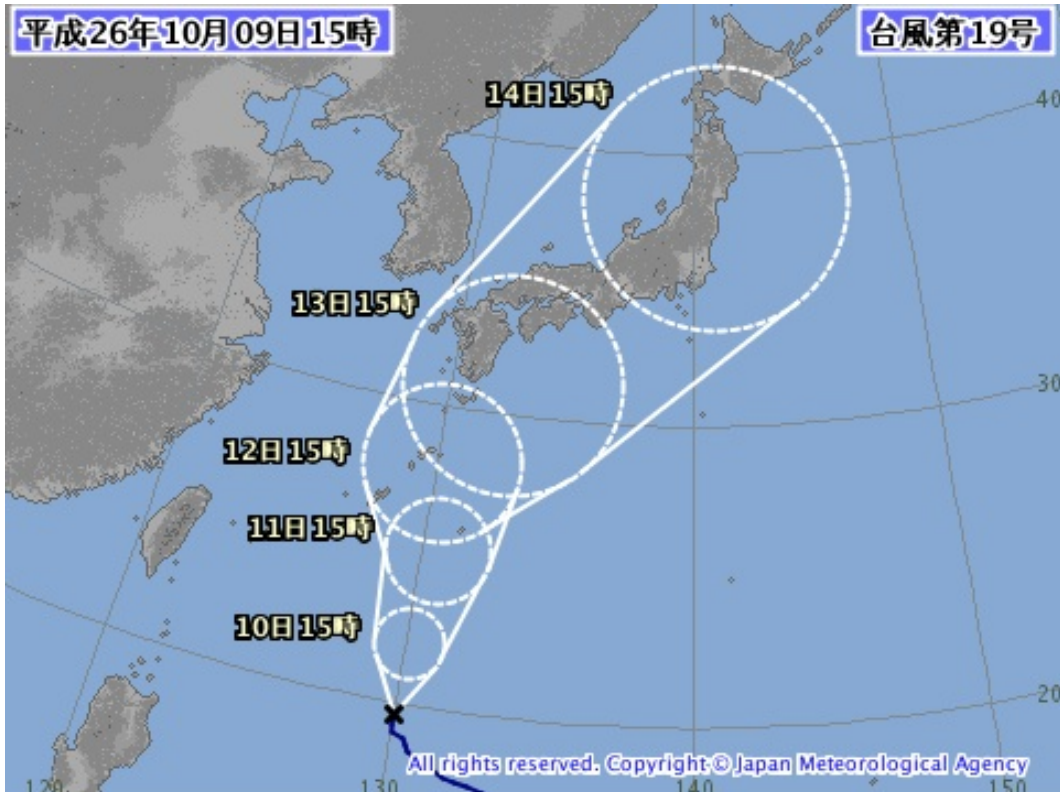
→この日を, みやぎ県民防災の日と定め, 毎年防災訓練などを行っている。

#### ■岩手宮城内陸地震

- ・2008年 6月14日 午前8時43分 発生 : 土曜日の朝の地震だった。
- ・M7.2, 最大震度6強 (栗原市)
- ・死者・行方不明者 23名 (土石流や崖崩れなど)
- ・栗駒山周辺の観光地は, 道路が崩れて孤立し, ヘリコプターで救出された。
- ・山間部で起こった地震のため, あちこちで土砂崩れや土石流が起こった。駒の湯温泉は土石流で埋まり, 多くの死者を出した。荒砥沢ダムでは大規模な地滑りが起こった。
- ・土砂崩れで川がせき止められるなどして, いくつも土砂ダムができた。ランプの宿の湯ノ倉温泉は, 土砂ダムの中に水没してしまった。
- ・陸地の地面のすぐ下で発生した直下型地震で, 東日本大震災とは別のタイプの地震。

## 防災主任より

10 / 10 (金) 台風19号について (帰りのHRで)



- ・台風19号が秋休み中の10月14日ごろ、宮城県を通り過ぎる予報がでています。
  - ・昨日の夕方現在で、中心気圧が910hPa（ヘクトパスカル）であり「猛烈な」台風です。
  - ・休み中に台風が来た場合の過ごし方（注意点）を、帰りのHRで必ず指導してください。
- 
- ・台風が来ているときには、家の中で過ごし、外を出歩いたりはしないこと。
  - ・風が強くなると、歩いているときに物が飛んできてケガをしたり、窓やドアが風で強く閉まってぶつかってケガをしたり、頭に当たって死亡することもあります。
  - ・風がすごくて風がすごくて窓が割れそうなときは、カーテンを閉めて窓から離れましょう。
  - ・雨の量が増えると、道路が冠水したり、川が増水したりします。冠水した道路では、水の深さが分からなくなり、マンホールのふたが外れていたり、側溝があっても見えないので、そういうところにはまると流されて死亡してしまいます。冠水した道路や増水した川、橋などには近づかないようにしましょう。川の増水は雨が上がったあとも続きますので、明日も気をつけましょう。
  - ・崖の近くでは、土砂崩れの危険もあります。家の近くに崖がある場合は、できるだけ2階や、崖から遠い部屋で過ごすようにしましょう。（夜寝るときも）
- 
- ・台風が過ぎていくと、次の日は今日のように良い天気になることがあります（台風一過）。でも、川や海には台風の影響が残っています。川は増水したまま、海は荒れて波が高い。なので、次の日が休みでも、海に泳ぎに行ったり、川に遊びに行くと、死んでしまうことがあります。注意しましょう。

# 参 考 資 料 一 覧

## ■文部科学省

学校防災のための参考資料「生きる力」を育む防災教育の展開（平成25年3月文部科学省）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/anzen/1289310.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1289310.htm)

「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」最終報告（平成24年7月）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/sports/012/toushin/1324017.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/012/toushin/1324017.htm)

## ■宮城県

みやぎ学校安全基本指針

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/supoken/anzen.html>

## ○震災記録

東日本大震災から学んだこと（石巻支援学校） ←検索すれば出てきます

[http://sekiyou.myswan.ne.jp/\\_src/sc2757/90ce8aaa8ex89878aw8dz82r.82p82p8140.pdf](http://sekiyou.myswan.ne.jp/_src/sc2757/90ce8aaa8ex89878aw8dz82r.82p82p8140.pdf)

東日本大震災における戸倉小学校の避難について（南三陸町立戸倉小学校 校長 麻生川 敦）

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/12404.pdf>

## ■内閣府

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（平成25年8月）

<http://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/youengosya/h25/hinansien.html>

## ■その他

河北新報社

わがこと防災・減災 「避難」…車いすが欠かせない石森さんの場合（東松島）

[http://www.kahoku.co.jp/special/bousai/pdf/20130101\\_T01.pdf](http://www.kahoku.co.jp/special/bousai/pdf/20130101_T01.pdf)

e-deffence（耐震補強をした木造住宅の振動実験）

Shaking Table Test on Conventional Wooden House (1)

<http://youtu.be/kc652Zp5qWk>

ちょこっとねっと（特定非営利活動法人 アフタースクールぱるけ）

<http://homepage2.nifty.com/paruke/tyokotto.html>

見知らぬ人からも支援を受けられる「緊急時サポートブック」（Sphinxのひとつこと）

<http://sphinx.cocolog-nifty.com/blog/2012/03/post-266f.html>

「これだけは準備しておきたい！」（家庭版） 全知P連

[http://www.zenchipren.jp/activty/pd\\_siryou/jyunbi\\_kateiban.pdf](http://www.zenchipren.jp/activty/pd_siryou/jyunbi_kateiban.pdf)